



校報 照来っ子

照来小学校 第12号
令和5年2月3日
文責：西岡 教敬

「大雪警報」時の対応、スキー教室のご協力 ～感謝・感謝・感謝～

校長室から見える雪景色を眺めながら、本年度1年間を通して、照来盆地の四季折々の美しさを見ることができ、幸せに感じております。

さて、1月24日午前中に「大雪警報」が発令され、子ども達の給食後緊急下校体制をとらせていただきました。10年間に1度といわれていた大寒波で、下校後、校舎周辺は猛吹雪となり雪がどんどん降り積もっていきました。児童を早く帰宅させることができ、ひとまず安心することができました。また翌日の「臨時休業」でも大変お世話になりました。ご家庭での素早く安全な対応、本当にありがとうございました。



この大雪は、生活面では困ることが多かったと思いますが、1月27日(金)に実施した「校内スキー教室」にとっては、恵みの雪となりました。但馬牧場公園スキー場施設を使用させていただき、充実した活動をすることができました。滑り終えて山から下りてきた子ども達の満足そうな顔が印象に残りました。これも、校区内にあるスキー場施設やお世話いただいた指導者の方々、そして準備等ご協力いただいた保護者の皆様のお蔭で、「感謝・感謝・感謝」の思いでいっぱいです。



2月3日「節分」の日～「邪気」や「心の中の悪い鬼」を退治しましょう～

今日2月3日は節分の日です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で2月4日「立春」ることから、「節分」といえば春の節分を示すものと
また、節分に「豆まき」をされるご家庭もあるかとするのは、季節の変わり目に邪気が入りやすいと思われていて、新しい春を迎える前に邪気を払って幸福を呼び込むために宮中祭祀として行われていたものが始まりだそうです。



が1年の初めと考えられ
なってきたそうです。
思います。節分に豆まきを



私の心の中にはいつも「めんどくさいことは後に回してしまおう鬼」や「自分だけがよければよい自己中(心的)鬼」がいます。そんな鬼をがんばって退治したいと毎年思うのですが・・・。

【図書室前の掲示物(作:図書ボランティア)】

ちなみに、今年の「恵方巻き」の方角(恵方:「歳徳神(としとくじん)」(別名で年神様や正月様)という神様のいる方角で、その年の縁起の良い方角とされている)は、「南南東のやや南」とのことです。

！いよいよ2月 ~1月は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」~

2月に入り、あと1ヶ月半で「卒業式」「修了式」を迎えます。「今年度最後の〇〇」という活動が増えます。2月1日に「今年度最後のわくわく交流会」がありました。全校生が縦割りで12班に分かれ、決められたテーマに沿って自分の意見を言ったり、お互いに質問また答え合ったり等、各学年国語「話す聞く」の学習で取組んだことを実践する場と位置付け活動しています。

[子どもの振り返り]

<低学年>

しつもんがまえよりできた。あいづちやうなずきができた。りゆうをはなすことができた。あいてにつたわるこえではなしたい。しつもんをもっともったしたい。あいてのはなしをもっとおぼえようとしたい。

<中学年>

理由をつけて考えることができた。相手がはなしている 時に、きちんと聞いた。しつ問ができなかつたので、こんどはがんばりたい。

<高学年>

ぼくは、自分のめあてをしっかりと守れたと思いました。みんなもしっかり自分の意見を発表できていていいと思いました。ぼくは、1年をふりかえって、前の自分より多く発表することができるようになりました。今日ぼくはが全体の発表をするとき、きんちょうしたけど自分やみんなの意見を伝えられてよかったです。



縦割り活動の効果で、高学年は話し合いをよりよく進めようと努力し、その姿を低学年が自然と学び取る形となり、よりよい伝統となりつつある取組です。

<学校からのお願いと連絡>

○ 学校の階段の積雪が多いため、子ども達に登下校時しばらくの間坂道(車道)を歩行させます。車からの見通しが少しでもよいように桐岡側を歩かせます。しかし、坂道は両側が雪壁になっており、幅も狭くなっております。車~~で来校される際は、引き続き、徐行と安全確認を充分にいただき、慎重な運転に心掛けていただけますようお願いいたします。~~



○ 積雪の中での通学、保護者や地域の方に安全を確保していただき、誠に感謝申し上げます。各学級で子ども達に話をしておりますが、各地区で除雪のため雪山のようになっている場所や側溝のふたのようになっている箇所等、危険な所があります。近づかないようにご指導お願いします。

2月の生活目標

☆気持ちのよいあいさつをしよう

- <守り方>
- ・大きくはきはきと言う。
 - ・相手の目を見てあいさつをする。



ご家庭でも、よろしくお願いいたします。